



令和7年11月19日発行 NO8
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口 悟
TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

コミュニケーションの大切さ



< 通信【飛騨っ子】 >

□ 高山市 PTA 連合会 三行詩コンクール 授業+在宅取組型

○テーマ 「不確かな時代に、確かな学びを ～自分たちの『言葉』に目を凝らそう～」

○主催 高山市 PTA 連合会 ○対象 高山市内小・中学校 ○期間 5月に市 PTA 連合会より啓発

今年度、高山市 PTA 連合会ではテーマを具現するために、『親子がお互いの言葉かけを通し、親子関係を見つめ直すこと』を願いとし、県(全国)PTA 連合会が主催している『三行詩コンクール』に取り組みました。

不確かな時代の中で、親子のコミュニケーション(言葉かけ)の大切さを改めて感じさせる取組です!

<高山市立宮小学校 関係者の声>

全校児童が日常の様々な場面を想起しながら、作品に取り組みました。「ふだん、感謝の気持ちを伝えていないな～」と振り返る児童もあり、家族について考えるよい時間となりました。PTA本部から保護者にも学校便りなどを活用し呼びかけをしました。選考はかなり難航しましたが、PTA役員にとってもとても良い機会となりました。



- ・パパのそのまがすき ママのごはんはおいしい いっしょにいるとたのしい (小1男子)
- ・うちのルール④は「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことです。これからは、「ごめんなさい」も言えるようにするよ。(小3女子)
- ・家に帰ると おばあちゃんのお出迎え これが私の何気ない日常 (小5女子)
- ・「センサーって何ですか?」と子に聞かれても 答えられない ある夏の日。80年前と何が変わったのかなあ。(保護者)
- ・大きくなったなあ と思いながら 赤ちゃんの時と変わらない 寝顔を見る幸せ (保護者)

<高山市立東山中学校 関係者の声>

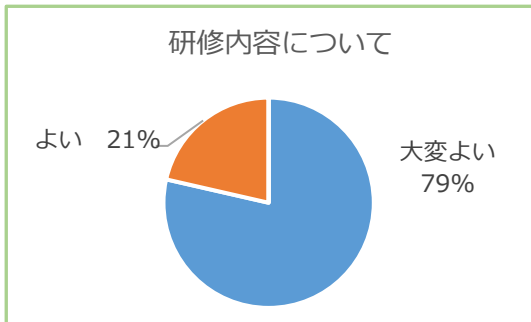
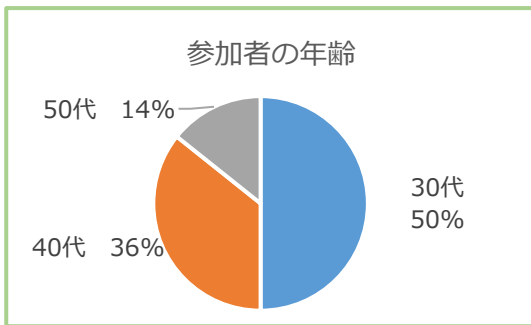
生徒がどんな反応をするのかやや不安がありましたが、楽しんで作品をつくる姿が見られました。出来上がった作品は素直でほっこりするようなものが多く、生徒たちの日常で見せる姿とは違った面を見ることができました。1・2年生国語科「詩」の授業の延長として取り組み、わずかな時間で良い取組となりました。



- ・家族で話すとどうでもいいこと ああ幸せだ この時間がずっと続けばいいのに (中2男子)
- ・お母さんと喧嘩した でもね思っているよ 「ごめんなさい 大好きだよ お母さん」(中2女子)
- ・父母へ 私を生んでくれて 「ありがとう」 祖父母へ 私を可愛がってくれて 「ありがとう」
姉弟へ 私を大切にしてくれて 「ありがとう」(中1女子)
- ・昔はママと一緒に入ったお風呂 今はさすがに ちょっと無理かな (中1男子)

□ 企業内家庭教育研修 参集型+講演会型+サロン型

○主催 NPO 法人 サン・はぎわら ○期日 9月25日(木) 16:00~17:00



- テーマ：親子のふれあい コミュニケーション UP
～子育ての肯定感を高めよう～
- 対 象：下呂市内の企業に勤務する子育て中の社員さん
- 場 所：ニコリエ
(下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設)
- 参加者：15名(男性7名 女性8名)
- 講 師：家庭教育推進専門職

主催者の『市内の企業と連携し、子育て中の親さんが拠点施設に集まり、子育て・家庭教育に関わる学びと交流ができる仕組みを作りたい』という願いのもとに、この取組が始まりました。

さらに、「NPO としてできることを商工会・企業と連携して進めたい」「異なる業種の保護者が集まり、子育てについて学んだり交流したりすることは、本人はもちろん会社や地域にとっても意義あること」という願いを聞かせていただきました。

当日は8事業所から15名の方々が集まり研修が始まりました。



＜ワークシートに記入＞



＜ワークシートをもとに交流＞

Q 本日の研修について、ご家庭や職場でどのように活かしていけそですか

- ・リフレーミングはなるほどと思いました。家庭でも職場でも相手の見方を少し変えてみることで自分の気持ちにも余裕を持って相手に関わることができのかなあと感じました。マジックワードもたくさん使いたいです。
- ・居場所をたくさんつくってあげること、今日の内容、動画を夫や友達などとシェアしたいです。わが家の約束運動のリーフレットも活用したいと思いました。
- ・研修で視聴した動画(県作成動画:基本的な生活習慣)が、おもしろく、家で子どもたちと一緒に見ようと思いました。

Q 家庭教育関連の研修をまた受講することについて、どう思いますか

- ・学校現場、家庭、地域それぞれの場所で活かすことができると思うので、是非また受講したいです。
- ・人それぞれの考え方などがあり、それを聞けるチャンスなので大切にしたいと思う。
- ・今日の内容を意識して生活してみてもう一度受けてみたい。
- ・一人で抱え込んでしまうので、このような研修でいろいろ聞いたり話したりしたいです。
- ・意見交換のときに女性側の願いが聞けたのが良かったです。



＜主催者の声＞

- ・感想を読むと「良かった」という意見を全員からいただくことができました。参加者同士が会話する時間は足りないくらいで、なかなか職場内で改めて子育てのことを話す機会がなく、良い時間でした。
- ・私たちとしては、家庭教育にこだわって年に何回か行えたら良いなあと思います。今後も萩原商工会を通じ萩原の全事業所に案内しながら地道な研修にしたいと思います。

- 下呂市立萩原北中学校 デジタルデトックスで家族の時間を大切に 宅取組型+サロン型
○期日 夏休みおよび10月17日(金)15:10~15:40 ○主催 PTA 学年委員会



8月 夏休み

親子でわくわく・・・

私たちにとってメディアは無くてはならないものになっています。気が付くと家族と一緒に居てもそれぞれのメディアに集中していることはありませんか？保護者もメディア時間を減らすことで家族一緒に過ごす豊かな時間をつくることができます。夏休み中に親子で楽しみながらデジタルデトックスに取り組んでみませんか？

教頭先生が「ノーメディア」という表現から「親子の時間を大切にしよう」という前向きな表現に変え取り組んだことが、親子の豊かなコミュニケーションを生み出すことにつながりました。」と話してくださいました。

生徒：振り返って感じたこと

・スマホを使わずに夏らしい川で遊び楽しい時間が過ごせた・親と時間が合わなかったけど、買い物や旅行に行けて良かった・家族と一緒に過ごす事も良い事だと改めて思った・こういう時間をもっと作ってやってみようと思った・ネットを使わなくてもいろんな事ができるとわかった・オセロ対決してとても楽しかった・これが終わっても家族との時間を大切にしたい

お家の方：感想

・子どもとスポーツをするなど一緒に活動する時間を持つことで、とても心が温かくなりスッキリとした気分になれた・家族と笑い合える時間が増えた・子どもの笑顔が見られ良かった・ふだんやらないゲームをすることができ会話や笑いが増え、家族とのコミュニケーションのきっかけになった・TVを消してそれぞれ読みたい本を読んで静かに過ごした時間もとても心地良かった

11月 学級懇談会

話が弾む魔法のあめ



「せっかくの各家庭の取組(夏休み)を実践したままで終わらせたくない」との思いから、取組をもとに授業参観後の学級懇談会の時間を家庭教育学級(サロン型)とし、保護者同士が交流できる場を準備しました。(類似例:飛騨っ子 NO7 高山市立山王小)

<学級懇談会の時間をサロン型家庭教育学級に活用>

下呂市立萩原北中学校は、市内3つの小学校から子どもと保護者が集まります。各小学校から入学する人数もまちまちです。これまで PTA 役員会では、「親同士が話につながる時間(場)があるといいね」という話題が出ていたそうです。こうした学校の課題解決に向け、わずかな時間を工夫し取り組まれたことがすばらしいです。

PTA役員さんが「『学校』という、どうしてもきちんとした(固い)イメージがありましたが、今日の皆さんの姿に触れ PTA 活動も見直ししながら工夫していけるところがあるなと感じました。」と話してくださいました。

私(専門職)は思わず、「次回のサロン型は、ぜひ BGM をかけてはどうでしょう?」「地域の方からの協力も呼びかけてみてはどうでしょう?」と、さらなる楽しさへのアドバイスをさせていただきました。

学校×家庭×地域=子どもの成長です。協働(かけ算)することで、教育の厚みと楽しさが生まれます。

楽しい！「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

岐阜県では、親子や家庭内の豊かなコミュニケーション（ほめる・励ます・アドバイスする・一緒に取り組む など）を生み出すことを目的とし、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進しています。

11月下旬に、県内すべての中学校・特別支援学校（中学部）に配布されます。有効に活用ください。

* R7 園・小学校版のチラシもあります。

（連絡先：飛騨県事務所 水口まで）

特設サイトの紹介
吹出し＜TAP＞ CLICK＞

話そう！語ろう！
わが家の約束運動
家庭の豊かなコミュニケーションを
生み出す運動です。

八百津町立
八百津東部中学校
の実践の紹介

実践を紹介しす
八百津町立八百津東部中学校
親子ふれあいチャレンジ
八百津町では、町内の全小中学校に向けて、「親子ふれあいチャレンジ」の啓発文書を送付しています。八百津東部中学校でも長期休業期間中に「親子ふれあいチャレンジ」に挑戦しました。

令和5年を休みのチャレンジ！
親子でおもてなし
活動を通して、久しぶりの家族を再会する機会に、大切な思い出を作ってください。家族で話し合ってください。家族で話し合ってください。家族で話し合ってください。

令和6年を休みのチャレンジ！
一家庭ボランティアチャレンジ
親子で協力して、地域の清掃活動や、ボランティア活動などに取り組んでください。家族で話し合ってください。家族で話し合ってください。家族で話し合ってください。

岐阜県家庭教育支援条例を
知っていますか？
平成 26 年 12 月、子どもたちの健やかな成長に資する
実感できる岐阜県の実現をめざして施行されました。
次のようなことが定められています。

② 実践の見える化
〇行政、親父母、地域住民、学校、
〇家庭教育についての関心と理解を深め、実践
に向けた意欲を高めるため、毎月第3日曜日
と「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の日と
します。

③ 言葉で伝え合う
家族から
子どもへのメッセージ
子どもへの励ましや褒め言葉
をお願いします。

子どもたちの
**健やかな
成長**

① めあての共有

岐阜県は、
「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を
推進しています。

約束づくりは、家族の会話の
きっかけづくりです！

チラシ＜TAP＞ CLICK＞

約束づくりの例（中濃地区の実践より）
・わが家の笑顔プロジェクト
・親子で語る将来の夢
・なかよし言葉であったか家族
・冬休み親子の絆ウィーク

< 運動のよさ > … いろいろなよさがあるよ

- ① 各家庭の状況に合わせて（めあて 取組期間など）取り組むことができます。
- ② 家庭の豊かなコミュニケーションは、わが子の自己肯定感（安心感・所属感）を高めます。
- ③ わが子の成長を保護者自身の成長と重ね合わせて捉えることで、保護者自身が子育ての肯定感を高めることができます。
- ④ 園や学校のテーマ（課題）を家庭と共有して取り組み、同じ目線で子どもを育てることができます。
- ⑤ ひにんちのうりよく 非認知能力（数値では測ることができない力）を育てることができます。

* 「自制心（我慢する力）」や「グリット（やり抜く力）：Guts（度胸）・Resilience（復元力）・Initiative（自発性）」・Tenacity（執念）は、大切な非認知能力だと言われています。

* 日本人選手として初めてMLB 殿堂入りを果たしたイチロー選手の「自分の能力を生かす能力は別にあることを知っておいてほしい。」というメッセージからも、非認知能力を育てることの大切さが伺えます。

- ⑥ わが子の保護者への援助希求（SOS）をしやすく、保護者がわが子の援助希求（SOS）を受容共感しやすい関係を培います。